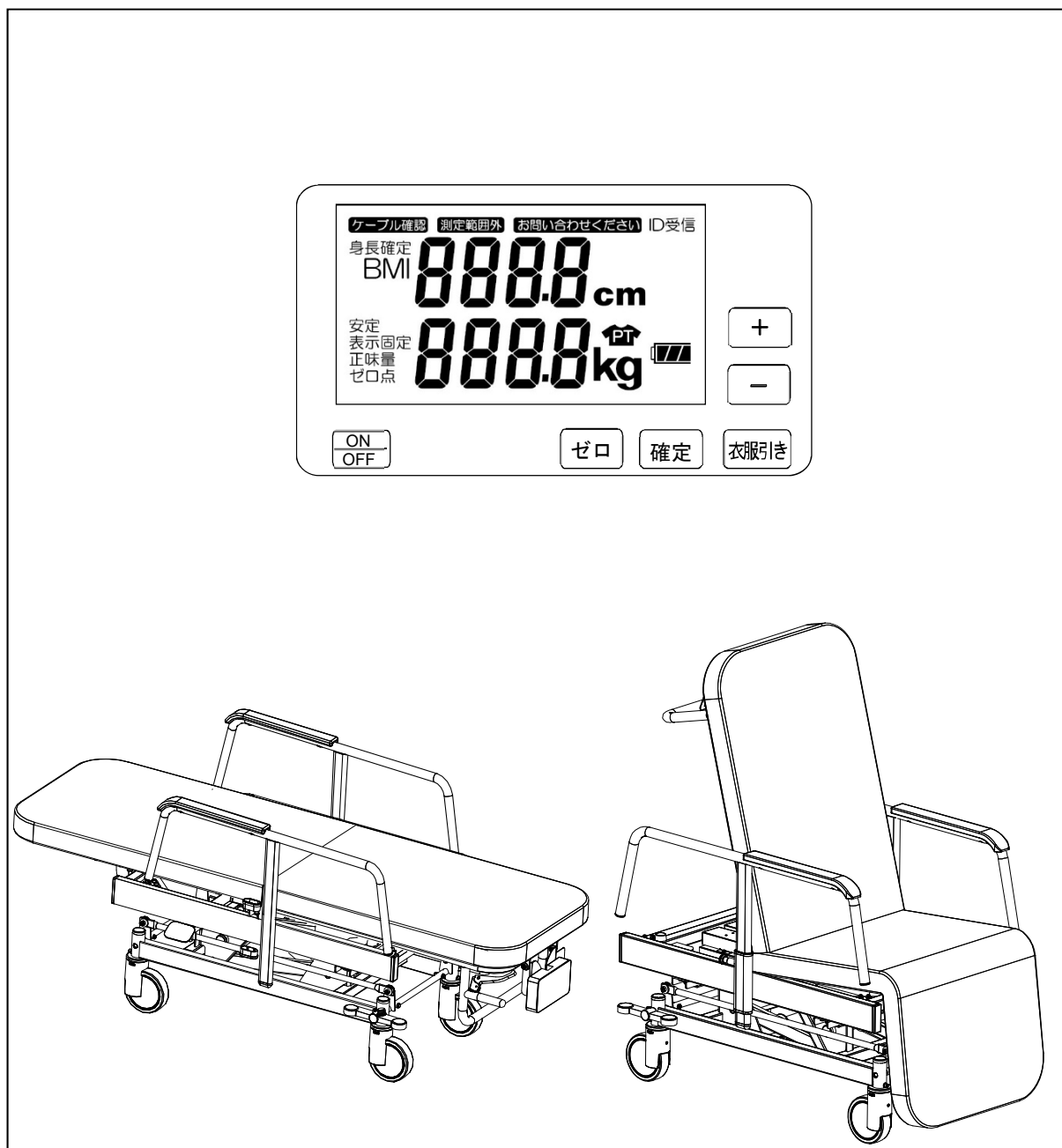


AD-6042

リクライニングスケール

取扱説明書



1WMPD4004411A

AND
A&D Medical

注意事項の表記方法



警告

この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

お知らせ

機器を操作するのに役立つ情報の記述です。

注意 正しく使用するための注意点の記述です。

注意

- (1) この取扱説明書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
株式会社エー・アンド・デイの書面による許可なく、複製・改変・翻訳を行うことはできません。
本書の内容の一部、または全部の無断複製は禁止されています。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) (株)エー・アンド・デイでは、本機の運用を理由とする損失、逸失利益及び、本製品の欠陥により発生する直接、間接、特別または、必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性がある旨と告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にデータの損失の責任を一切負いません。(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねます。




© 2021 株式会社 エー・アンド・デイ

本書に記載されている商品名および社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。




注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

| | |
|---|---|
|  危険 | この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。 |
|  警告 | この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
|  注意 | この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。 |

図記号の意味

| | |
|---|---|
|  | △記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。 |
|  | ⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。 |
|  | ●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。 |

その他

| | |
|-------------|-------------------|
| お知らせ | 機器を操作するのに役立つ情報です。 |
|-------------|-------------------|







この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全及び危険防止）の注意事項



リクライニングスケール(AD-6042)を正しく、安全にお使いいただくために、以下の注意事項を十分に理解した上でご使用ください。




なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、測定者および患者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。



|  危険 | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。■ 必ずブレーキペダルを操作して、キャストが固定されることを確認してください。 |
|  注意 | |
|  | <p>下記の使用環境、保管環境でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 水のかからない場所。■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。■ 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)などのない安定した場所。■ 本器および測定者、患者の重さに耐えうる場所。■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。■ 設置：温度+5℃～+35℃、湿度75%RH以下(結露なきこと)の場所。■ 保管：温度-10℃～+60℃、湿度95%RH以下の場所。■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。 |
|  | <p>製品の設置・移動時は、下記に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 屋外や平坦でない床面ではキャストを使用して移動しないでください。故障の原因になります。 移動の際は屋内の平坦な床面でのみキャストを使用してください。■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。故障の原因となります。■ 乱暴に取り扱わないでください。故障の原因となります。■ 本器を移動するときは、電源ケーブルを本体より取り外してから移動してください。■ 移動前にキャストがスムーズに動くことを確認してください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">■ 設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。 |



2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。


|  警告 | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">■ 電源電圧は必ず交流 100V でご使用ください。 火災や感電の原因になります。 |

|  注意 | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">■ 機器が安全かつ正確に動作すること。■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。■ 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本器に添付された重力加速度の範囲と本紙の「13. 地域別重力加速度一覧」からご確認ください。■ 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">■ 本器は人の体重を測定することを目的としています。 体重測定以外の目的で使用しないでください。■ AC アダプタの上に重いものをのせたり、本器の下敷きにしなないこと。 火災・感電の原因になります。■ AC アダプタ、プラグ部が破損している場合は使用しないこと。 感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。■ 乾電池は必ず単二型を使ってください。無理に違う形状の電池を入れないでください。 |




3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

|  注意 | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">■ 機器全般および患者に異常のないことを絶えず監視すること。■ 機器全般および患者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。■ 測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。■ 昇降する際は必ずブレーキペダルをロックの状態で行ってください。 |



|  警告 | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">■ マットの中央部にお乗りください。■ マットの端や先端など謝った場所に患者が乗らないに注意してください。転倒による傷害を負う可能性があります。■ 必ずブレーキペダルでロック状態にして操作してください。■ 可動部に手や足を挟まないように注意してください。■ 患者が乗った状態では、ベッド状態からチェア状態への背上げ操作を絶対にしないでください。 傷害の原因となります。 |

| | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 ■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動する場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。 故障の原因になります。 |
|---|---|




4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

|  注意 | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ■ AC アダプタを取り外すときは、AC アダプタを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。 |

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

|  警告 | |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ■ 測定者および患者の安全を確保すること。 ■ 機器の動作を止め、AC アダプタをコンセントから抜くこと。 ■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社までご連絡ください。 ■ 体重計の校正はお客様では行えません。弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。 |

6. 保守点検については次の点に注意してください。

|  警告 | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ■ お手入れの際は、感電防止のため、本器の AC アダプタをコンセントから抜いてください。 ■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 ■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者(施設、学校、病院・診療所)側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。 |

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

注意

- 本器は、JIS C 61000-4-3(電磁両立性)に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

次に一般的な原因と対策の一例をあげます。

- 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用
電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。
本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。
 - 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。
 - 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。
- 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合
 - 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。
 - 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。
 - 他の電源コンセントから電源を取る。
- 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）
 - 本器を使用する前に、測定者、患者とも十分に放電を行う。
 - 部屋を加湿する。
- 落雷等による影響
近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。
 - 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

8. 環境保護

注意

- 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体の指導に従って処分してください。
可燃性として処分すると、乾電池が爆発して火災が起こり、やけどやけがをする恐れがあります。

⚠️ 注意



- 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ

- 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

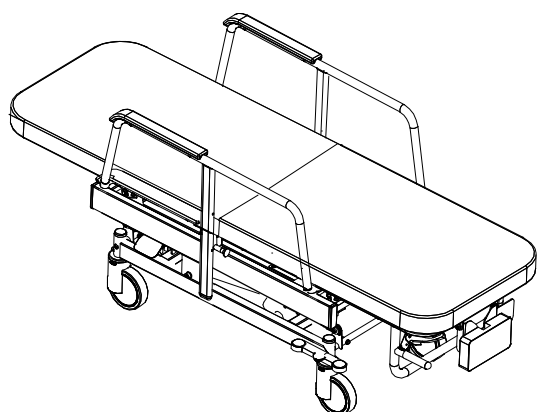
ご使用前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。

万一、損傷や内容物に不足がある場合には、お買い求めいただいた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

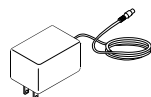
オプション品は「11. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

| | | |
|-----|------------|-----------|
| 本体 | | 1 セット |
| 付属品 | 取扱説明書(本書) | 1 冊 |
| | 製品保証書 | 1 冊 |
| | 専用 AC アダプタ | 1 個 |

本体



付属品



AC アダプタ



保証書



取扱説明書(本書)

※ACアダプタのイラストは仕様により変更する
可能性がございます。

目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 注意事項の表記方法 | i |
| 使用上（安全及び危険防止）の注意事項 | ii |
| 開梱 | vi |
| 目次 | 1 |
| 1. はじめに | 2 |
| 2. 特長 | 2 |
| 3. 検定付き計量器 | 2 |
| 4. 用語の解説 | 3 |
| 5. 仕様 | 4 |
| 5.1. 構成 | 4 |
| 5.2. 本体仕様 | 4 |
| 5.3. 外形寸法 | 5 |
| 6. 各部の名称と機能 | 6 |
| 6.1. 各部の名称 | 6 |
| 6.2. 表示器のスイッチ | 7 |
| 6.3. 表示器の表示 | 8 |
| 6.4. 表示器側面 | 8 |
| 7. ご使用の準備 | 9 |
| 7.1. 電源の準備 | 9 |
| 7.2. 時計の設定 | 9 |
| 7.3. 操作方法 | 10 |
| 7.4. 設置 | 12 |
| 7.5. 始業前点検 | 13 |
| 8. 測定方法 | 14 |
| 8.1. 体重をはかる | 14 |
| 8.2. 衣服の重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定） | 15 |
| 8.3. ファンクション設定 | 16 |
| 9. 通信機能（RS-232Cインタフェース） | 18 |
| 10. 保守 | 20 |
| 10.1. 保守点検と安全管理 | 20 |
| 10.2. 清掃 | 20 |
| 10.3. 定期点検 | 20 |
| 10.4. 廃棄 | 21 |
| 10.5. 修理を依頼される前に | 22 |
| 11. アクセサリ・オプションリスト | 22 |
| 12. 重力加速度の大きさの範囲 | 23 |
| 13. アフターサービス・保証 | 24 |
| 13.1. 保証期間 | 24 |
| 13.2. 免責事項 | 24 |
| 13.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口 | 24 |

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのリクライニングスケール AD-6042 をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、AD-6042 の操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られるところに大切に保管してください。

2. 特長

AD-6042 は、病院、健康診断、介護施設など医療介護関係向け体重計です。以下の特長があります。

- 簡単な操作で体重の測定ができます。
- リクライニング機能により座位でも横になった姿勢でも体重測定ができます。
- 測定した体重値と入力した身長値から、BMI を計算し、表示することができます。
- 拡張端子による通信出力機能 (RS-232C 準拠) があります。

3. 検定付き計量器

AD-6042 は、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。

以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

■ 使用地域の制限

検定付き計量器を「取引」または、「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、計量台の銘板に記載されています。

※ 使用地域については、「1.2.重力加速度の大きさの範囲」を参照してください。

■ ひょう量と最小測定量、目量

「取引」または、「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」は、計量台の銘板および表示部に記載されています。

「取引」とは、計量法の「有償であると無償であるとを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。

「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

■ 使用温度範囲

「取引」または、「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、計量台の銘板に記載されています。

■ 定期検査

本器を「取引」または、「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第 1.1. 条により 2 年ごとに定期検査が義務付けられています。

当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県計量検定所にお問合せください。定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。

※ 表示固定の解除については、「8.3.ファンクション設定」を参照してください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。

性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、弊社にお問合せください。

※ 定期点検については、「10.3.定期点検」を参照してください。

■ 校正

検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

4. 用語の解説

| 用語 | 解説 | | | | | | | | |
|-----------|---|----|-----|----|---------|----|--------------|----|---------|
| ひょう量 | はかりが計量可能な最大の質量を表します。 本器のひょう量は 150 kg です。 | | | | | | | | |
| 目量 | はかりの1つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。 本器の目量は、 100 g です。 | | | | | | | | |
| 風袋引き | 風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。 風袋の質量(風袋量)とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです。 | | | | | | | | |
| 正味量 | 総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。 | | | | | | | | |
| プリセット風袋引き | 計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。本器では「PT」として表現しています。 | | | | | | | | |
| 総量 | 風袋量またはプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。 | | | | | | | | |
| BMI | <p>Body Mass Index の略です。</p> $\text{BMI} = \frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}}$ <p>で計算される成人の肥満度の判定指数です。</p> <p>BMI は日本肥満学会肥満症診断基準検討委員会 2000 年度報告により算出しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定</th> <th>BMI</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やせ</td> <td>18.5 未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>18.5~25.0 未満</td> </tr> <tr> <td>肥満</td> <td>25.0 以上</td> </tr> </tbody> </table> | 判定 | BMI | やせ | 18.5 未満 | 普通 | 18.5~25.0 未満 | 肥満 | 25.0 以上 |
| 判定 | BMI | | | | | | | | |
| やせ | 18.5 未満 | | | | | | | | |
| 普通 | 18.5~25.0 未満 | | | | | | | | |
| 肥満 | 25.0 以上 | | | | | | | | |

5. 仕様

5.1. 構成

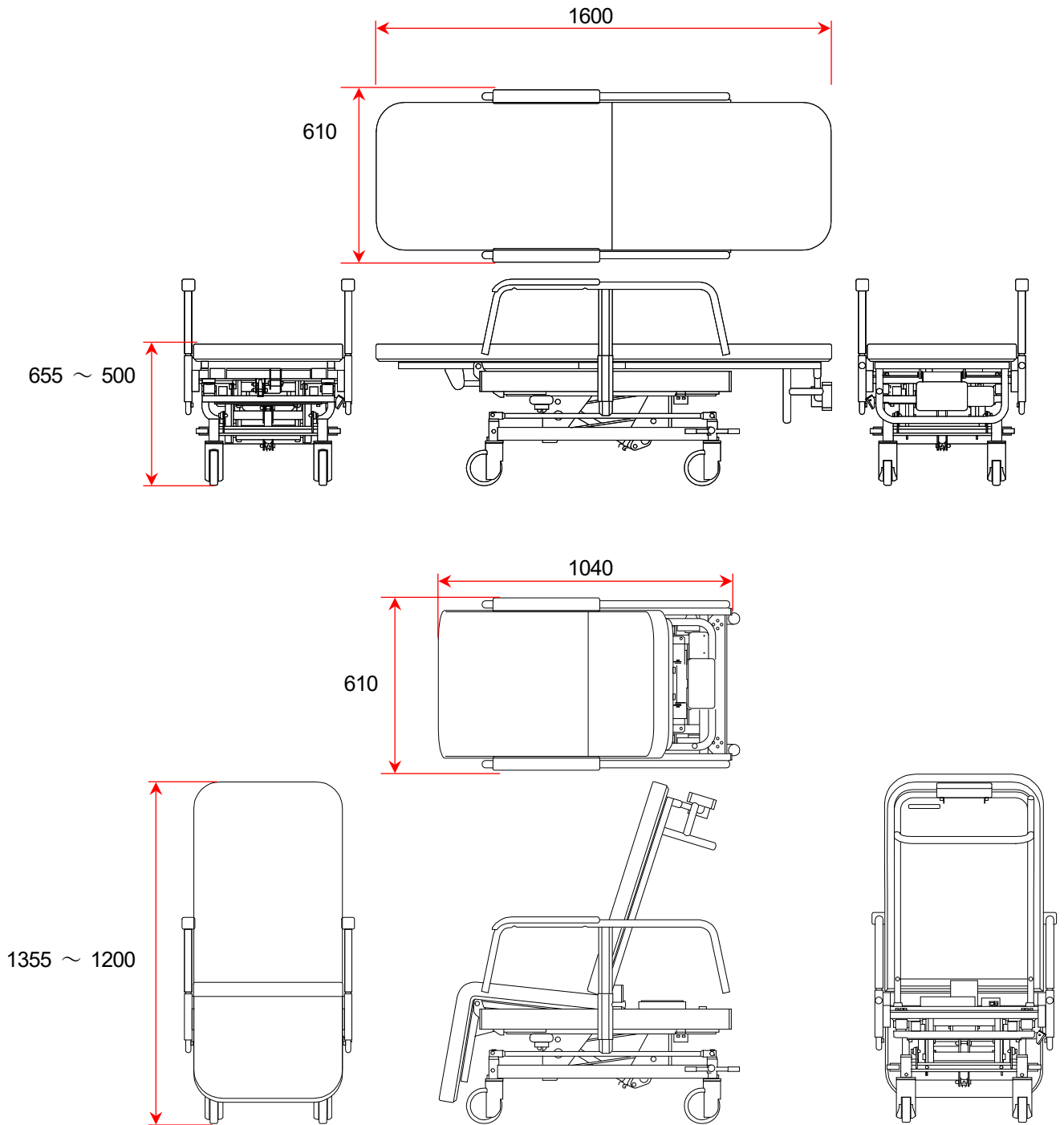
| 搭載機能 | 型名 | AD-6042 |
|-------------|----|---------|
| デジタル LCD 表示 | | ○ |
| 体重測定 | | ○ |
| 風袋引き測定 | | ○ |
| プリセット風袋引き測定 | | ○ |
| BMI 計算、表示 | | ○ |
| 印刷 | | オプション |

5.2. 本体仕様

| 項目 | 仕様 |
|----------|---|
| 型名 | AD-6042 |
| 販売名 | リクライニングスケール |
| 精度等級 | 3 級 |
| ひょう量 | 150 kg |
| 目量 | 100 g |
| 最小測定量 | 2 kg |
| 最大減算風袋量 | 99.9 kg 以下 |
| 使用温湿度範囲 | 温度：+5 °C ~ +35 °C、 湿度：85 %RH 以下(結露なきこと) |
| 保管温湿度範囲 | 温度：-10 °C ~ +60 °C、 湿度：95 %RH 以下(結露なきこと) |
| 表示 | 7 セグメント液晶表示、メイン画面：文字高 23[mm] |
| 電源 | 専用 AC アダプタ 又は 単 2 形乾電池 6 本 |
| 乾電池寿命 | 連続動作(アルカリ乾電池使用時) 80 時間以上 |
| プリンタ印字回数 | プリンタ PR580 と専用充電電池の印字回数 800 回以上 |
| 寸法 | ベッド状態 1600(W) × 610(D) × 500 ~ 655(H) [mm] 椅子状態 1040(W) × 610(D) × 1200 ~ 1355(H) [mm] |
| 本体質量 | 約 58 kg |
| 耐用期間 | 設置後 5 年 弊社データによる自己認証。 (正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。 使用状況により差異が生じることがあります。) |

5.3. 外形寸法

単位：mm



6. 各部の名称と機能

6.1. 各部の名称

ベッド状態

① サイドガード

② キャスタ

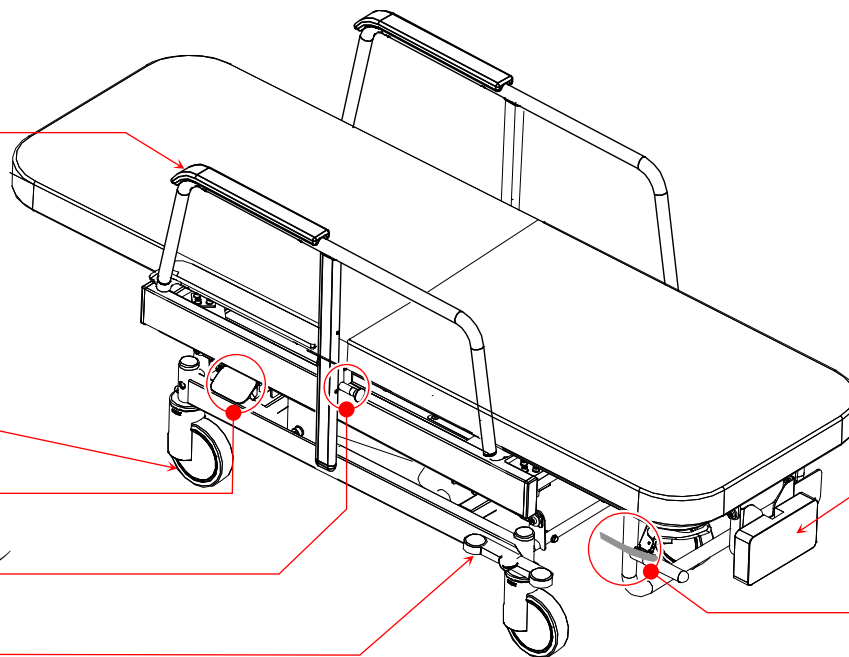
③ 昇降レバー

④ サイドガードのピン

⑤ キャスタロック

⑥ 表示器

⑦ 背もたれレバー



椅子状態

① サイドガード

② キャスタ

③ 昇降レバー

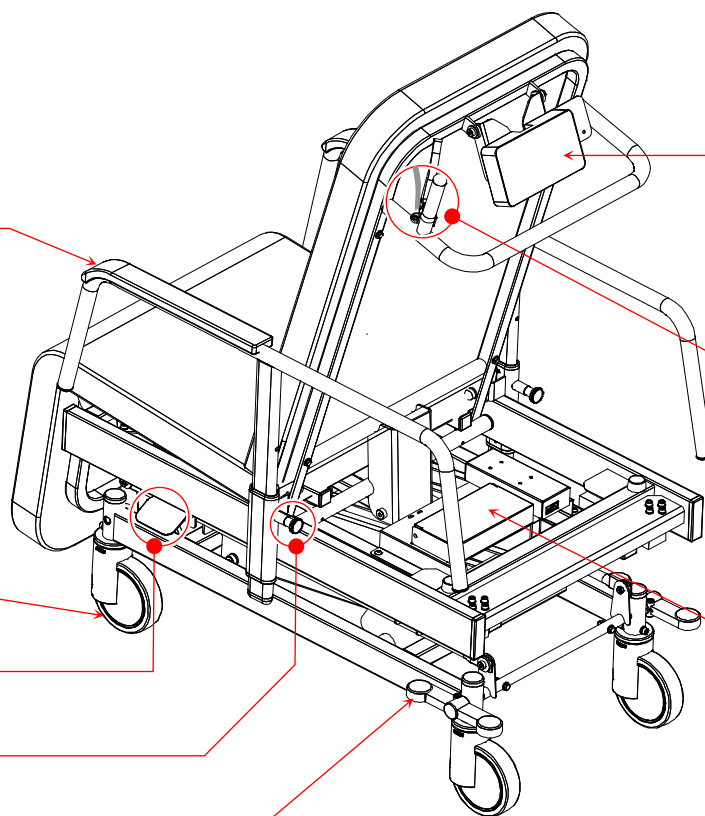
④ サイドガードのピン

⑤ キャスタロック

⑥ 表示器

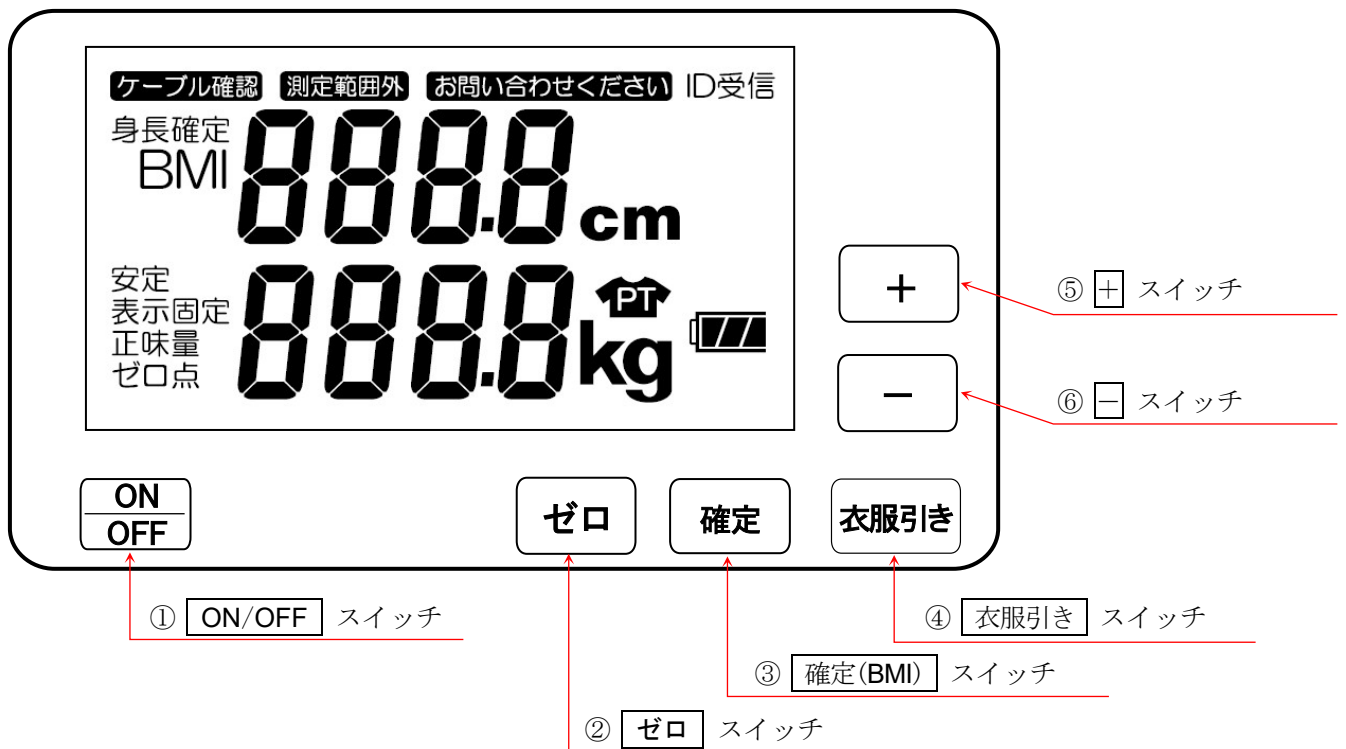
⑦ 背もたれレバー

⑧ 電池ボックス

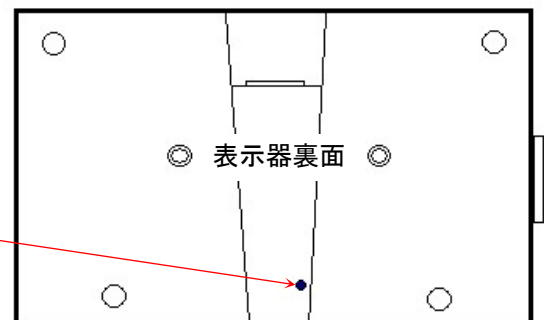


| | 名称 | 機能 |
|---|-----------|---|
| ③ | 昇降レバー | 押し込むと、ベッド全体が上下可動できるようになります。 |
| ④ | サイドガードのピン | ピンを引くと、サイドガードが上下に可動できます。 ピンを押し込むと、サイドガードが固定されます。 |
| ⑤ | キャスタロック | 位置によって、キャスターがロックされます。 |
| ⑥ | 背もたれレバー | 握り混むと、背もたれ部分が可動できるようになります。 |
| ⑦ | 表示器 | 測定した体重を表示します。 |
| ⑧ | 電池ボックス | 単二型乾電池 6 本が入ります。 |

6.2. 表示器のスイッチ



⑦ 時計スイッチ (隠れスイッチ)

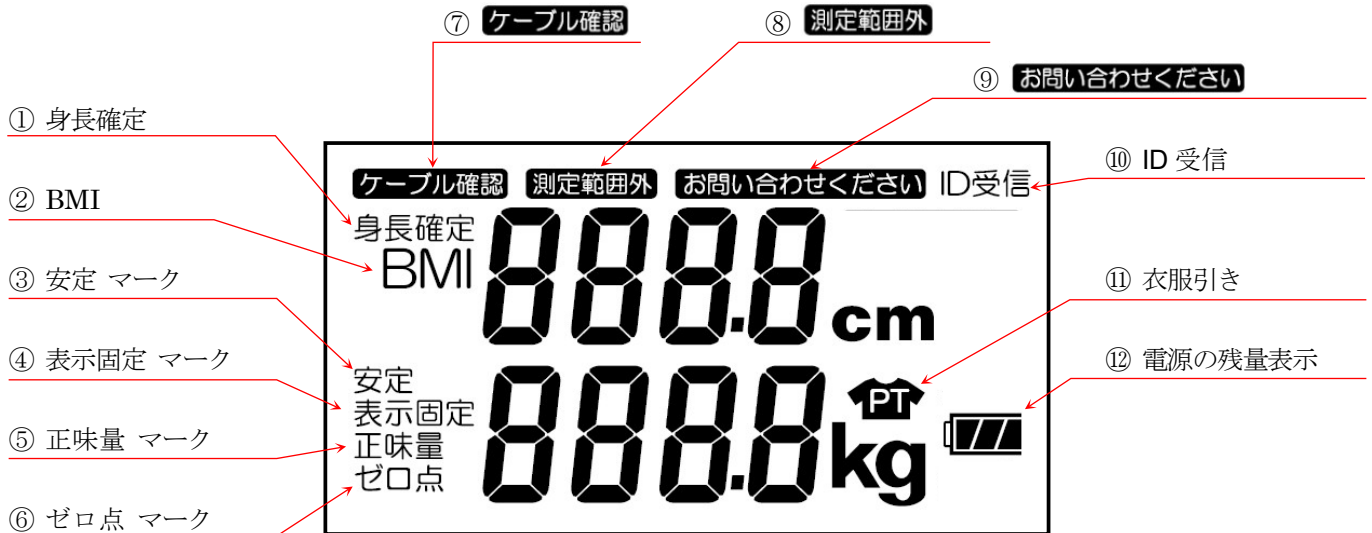


| | 名称 | 機能 |
|---|--------------|-------------------------------|
| ① | ON/OFF スイッチ | 電源のオン・オフを行います。電源オンで待機状態になります。 |
| ② | ゼロ スイッチ ※1 | 表示を 0.0 kg にするとき押します。 |
| ③ | 確定(BMI) スイッチ | BMI を計算し表示するとき押します。 |
| ④ | 衣服引き スイッチ | 事前に衣服の質量を差し引く設定をします。 |
| ⑤ | + スイッチ | 各種値を増加させます。 |
| ⑥ | - スイッチ | 各種値を減少させます。 |
| ⑦ | 時計スイッチ ※2 | 時刻設定をするときに押します。 |

※1 載せているものが 3.0 kg 以上のときは風袋引きになります。

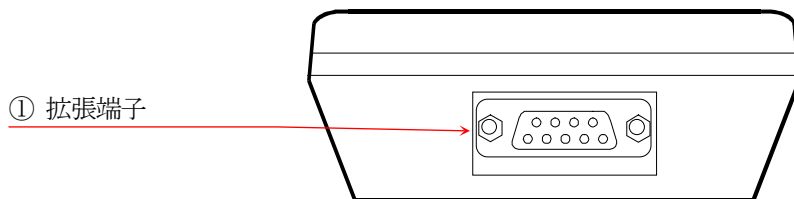
※2 表示器裏面の隠れスイッチです。先端の尖っていない細い棒で押ししてください。

6.3. 表示器の表示



| | 名称 | 説明 |
|---|-------------------|---|
| ① | 身長確定 | 身長値を確定表示しているとき点灯します。 |
| ② | BMI | BMI 測定中に点灯します。 |
| ③ | 安定 マーク | 体重値が安定すると点灯します。 |
| ④ | 表示固定 マーク | 安定した体重値を一定時間表示しつづけるとき点灯します。 |
| ⑤ | 正味量 マーク | 風袋引き測定または、衣服引き(プリセット風袋)測定をしている間点灯します。 |
| ⑥ | ゼロ点 マーク | 体重値の 0.0 kg で点灯します。 |
| ⑦ | ケーブル確認 | 表示器と計量台との接続ケーブルが、接続されていない時や断線している時、点灯します。 |
| ⑧ | 測定範囲外 | 計量値が 150.8 kg を超えたときと、-1.9 kg 以下のとき点灯します。 |
| ⑨ | お問い合わせください | 製品の異常(故障)を検知したとき点灯します。 |
| ⑩ | ID 受信 | 拡張端子から患者 ID が入力されたとき点灯します。 |
| ⑪ | PT | 衣服引き(プリセット風袋)測定をしている間、「正味量」マークと共に点灯します。 |
| ⑫ | | 電源の残量に応じて点灯します。 電源は十分にあります すこし少なくなりました。 残りわずかです。早めに交換してください。 直ちに交換してください。 |

6.4. 表示器側面

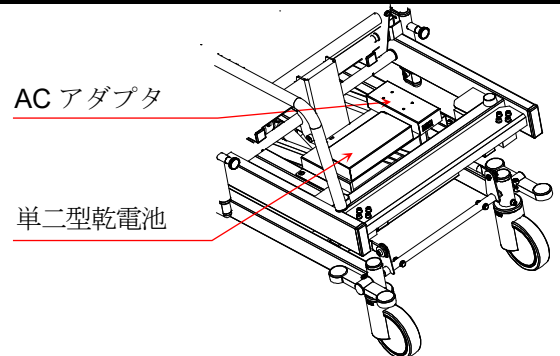


| | 名称 | 説明 |
|---|----------------------|-------------------------|
| ① | 拡張端子 (D-sub9 ピンコネクタ) | 外部プリンタ等と通信ケーブルにより接続します。 |

7. ご使用の準備

7.1. 電源の準備

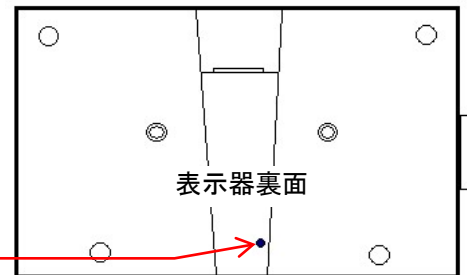
- 手順 1. 「7.3.3. 背上げの操作のしかた」を参考に椅子状態にします。
手順 2. ACアダプタを接続するかまたは、乾電池を挿入します。



7.2. 時計の設定

日付・時刻を設定します。設定した日付・時刻は拡張端子により、測定データと共に出力され印字などできます。

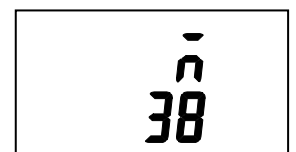
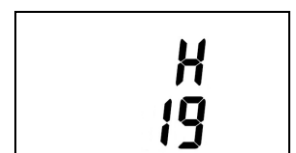
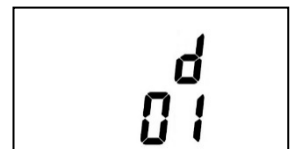
- 手順 1. **ON/OFF** スイッチを押して待機状態にします。
表示器裏面の隠れスイッチを3秒以上押してください。
時計スイッチ（隠れスイッチ）



お知らせ

- 待機状態になって1分以上経過した場合、再度 **ON/OFF** スイッチを押して待機状態にしてください。

- 手順 2. メイン画面に西暦が点滅表示します。
+、**-** スイッチで西暦を合わせてください。
- 手順 3. **ゼロ** スイッチを押すと設定され、メイン画面に月が点滅表示します。
+、**-** スイッチでお使いの月に合わせてください。
- 手順 4. **ゼロ** スイッチを押すと設定され、メイン画面に日が点滅表示します。
+、**-** スイッチでお使いの日に合わせてください。
- 手順 5. **ゼロ** スイッチを押すと設定され、メイン画面に時刻が24時間で点滅表示します。
+、**-** スイッチでお使いの時刻に合わせてください。
- 手順 6. **ゼロ** スイッチを押すと設定され、メイン画面に分が点滅表示します。
+、**-** スイッチでお使いの分に合わせてください。
- 手順 7. **ゼロ** スイッチを押すと設定され、メイン画面に **時:分** が表示されます。
End を表示して設定完了です。



お知らせ

- 年データの設定可能範囲は、2014 ～ 2099 年です。
- 本器の時計は、24 時間制です(閏年対応)。
- 時刻設定中 **ON/OFF** スイッチを押すなどして時刻設定モードを抜けた場合、変更した時刻データ(年 ～ 分)は設定されません。
- 本器の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。
- 測定 ON 状態で表示器裏面の隠れスイッチを押すと、現在時刻の表示確認ができます。

7.3. 操作方法

警告



- 患者が乗った状態では以下の操作をしないでください。
- 必ずブレーキペダルでロック状態にして操作してください。
- 可動部に手や足を挟まないように注意してください。

7.3.1. ブレーキペダルの使い方

注意

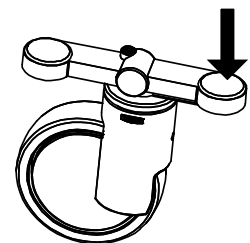


- 停車中は、必ずブレーキペダルを使ってキャストを固定してください。
- ブレーキペダルを乱暴に蹴ったり、踏みつけたりすると、故障の原因になります。
- ブレーキペダルを操作する時はラベルの上をしっかり足を乗せてゆっくり押してください。

ブレーキペダルで固定する

手順 1. ブレーキペダルを足で図の方向に押します。

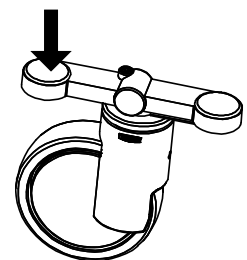
手順 2. 固定したことを確認します。



ブレーキペダルで前輪だけ固定する

手順 1. ブレーキペダルの緑ラベルが下になるように、足で図の方向に押します。

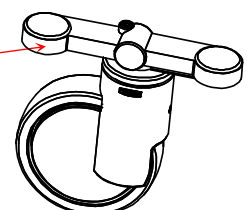
手順 2. 前輪のみ固定していることを確認します。



すべてブレーキを解除する

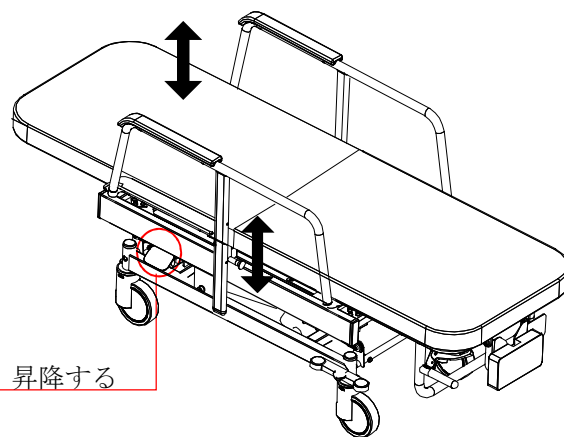
手順 1. ブレーキペダルの緑ラベルと赤ラベルが同じ高さになるように、足で押します。

手順 2. 各方向自由に動くこと確認します。



7.3.2. ベッド昇降のしかた

- 手順 1. 操作する前に本器のまわりには十分な空間があることを確認してください。
- 手順 2. ベッド昇降レバーを引き上げながら、ベッド全体を支えながら上げます。(下げます。)
- 手順 3. 位置が決まったらベッド昇降レバーを戻します。



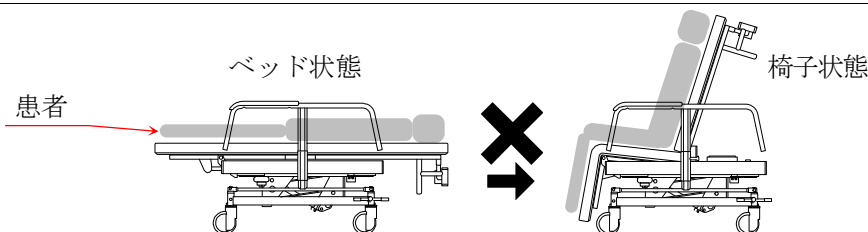
昇降レバーを引き上げながら、昇降する

7.3.3. 背上げの操作のしかた

⚠警告



- 患者が乗った状態では、ベッド状態から椅子状態への背上げ操作を絶対にしないでください。傷害の原因となります。



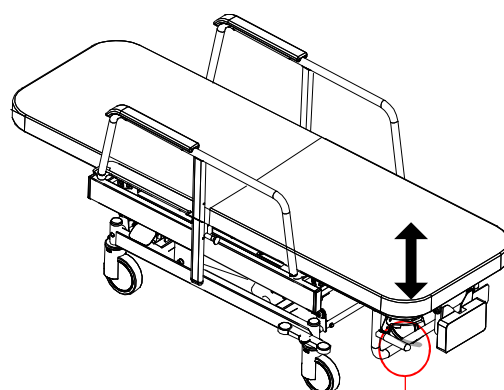
⚠注意



- 患者が乗った状態で、椅子状態からベッド状態にする際は、必ず介助者が側にいて患者の状態を注視しながら行ってください。
- 可動部の緩衝機構は空気を利用しているため、お使い始め、長時間お使いにならないとき、寒いときなど動きが悪い事がございます。その際は数回予備動作などをしていただくと、解消されます。

ベッド状態から椅子状態にする

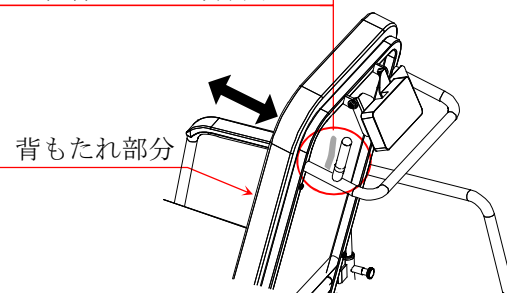
- 手順 1. 操作する前に本器のまわりには十分な空間があることを確認してください。
- 手順 2. 表示器右側のハンドルを握りながら、ハンドルを持ち、背もたれ部分を上げます。
- 手順 3. 位置が決まったらハンドルを離します。



ハンドルを握りながら、背もたれを昇降する

椅子状態からベッド状態にする

- 手順 1. 操作する前に本器のまわりには十分な空間があることを確認してください。
- 手順 2. 表示器右側のハンドルを握りながら、ハンドルを持ち、背もたれ部分を下げます。
- 手順 3. 位置が決まったらハンドルを離します。



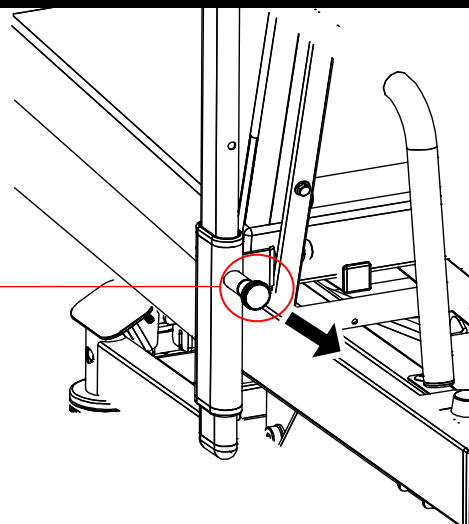
背もたれ部分

7.3.4. サイドガードの操作の仕方

手順 1. サイドガード横のスライド式のピンを引きます。

手順 2. ピンを引いたまま、サイドボードを上下に移動させます。

手順 3. ピンを戻します。



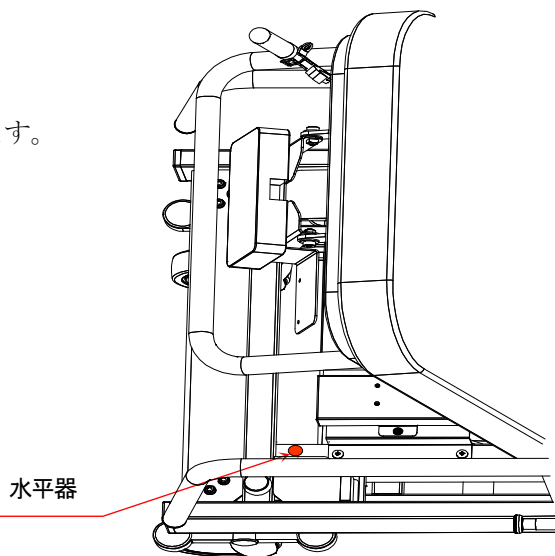
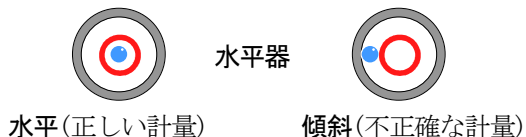
7.4. 設置

⚠️ 注意

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃のない水平で安定した場所に設置してください。製品の設置不安定により、つまずき、けがをする恐れがあります。■ 本器は、ひょう量と本器質量に十分耐えうる場所に設置してください。 |
| | <ul style="list-style-type: none">■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないようにご注意ください。■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないようにご注意ください。 |

水平器の調整

手順 1. 水平器の円(赤色)の中に気泡がくるよう位置に設置します。



7.5. 始業前点検

注意



- 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。

7.5.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

| 項目 | 内容 |
|----|---|
| 外観 | <ul style="list-style-type: none">■ 変形や破損はないか■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか■ パネル類に割れやガタつき等はないか■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか■ 結露や水濡れはしていないか■ 可動部に破損はみられないか |
| 本体 | <ul style="list-style-type: none">■ がたつき、破損などはないか■ キャスタ動作（転がり）、ロック機構が正常か |

7.5.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

| 項目 | 内容 |
|--------------------------|---|
| 外観 | <ul style="list-style-type: none">■ けむりが出たり、変なにおいはないか■ 異常な音が聞こえないか |
| 体重測定 | <ul style="list-style-type: none">■ 実測し、体重値および測定動作に異常はないか |
| データ処理 (他 PC 等への接続の場合) | <ul style="list-style-type: none">■ 正常に通信可能か■ データに異常はないか |
| スイッチ・ボタン | <ul style="list-style-type: none">■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか |
| 表示 | <ul style="list-style-type: none">■ 文字欠け等表示異常はないか |

上記の「始業前点検」で、設定などの異常を発見した場合、本書をご参照の上、修正を行ってください。

8. 測定方法

⚠️ 注意

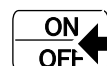


- 計量台に飛び乗らないでください。けがや転倒する恐れがあります。

8.1. 体重をはかる

手順 1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.1.電源の準備」参照。

手順 2. **ON/OFF** スイッチを押して測定 ON にします。



ゼロ

確定

手順 3. 全点灯表示後、体重表示が **0.0 kg** 表示となり安定マークが点灯します。**0.0 kg** 表示になっていない場合は、**ゼロ** スイッチを押してください。



ゼロ

確定

手順 4. 体重が安定すると「安定」と「表示固定」の表示が点灯し、体重値が表示固定されます。

手順 5. オプションプリンタ AD-PR580 が取り付いている場合は、時刻ともに体重値が印字されます。

2021年6月1日 10時00分

体重 66.5 kg

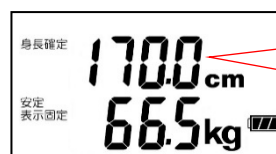
手順 6. BMI を測定する場合は、そのまま **確定(BMI)** スイッチを押してください。



ゼロ

確定

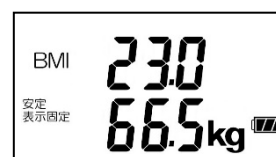
手順 7. 表示上部に身長が点滅表示されます。**+**、**-** スイッチ押して患者の身長に合わせます。



+

-

手順 8. 一定時間経過すると身長が自動で決定して、表示上部に BMI 値が表示されます。



手順 9. オプションプリンタ AD-PR580 が取り付いていると、体重、身長、BMI 値が印字されます。

2021年6月1日 10時00分

体重 66.5 kg
身長 170.0 cm
BMI 23.0

手順 10. 測定が終了したら計量台から静かに降ります。**ON/OFF** スイッチを押して OFF にします。

お知らせ

- 表示固定は、体重値が一度安定すると、 ± 3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。体重値が 5 kg 以上の場合に適用されます。
- 体重値が 150.8 kg を超えると測定範囲外になり、**E** を表示します。
- 専用プリンタを使う場合にはファンクション設定を F6-2 にしてください。

8.2. 衣服の重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定）

8.2.1. 衣服の重さとして1.0 kg引くとき

手順 1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.1.電源の準備」参照。

手順 2. **ON/OFF** スイッチを押して測定 ON にします。



手順 3. **衣服引き** スイッチを押すと、初期の衣服引き量(プリセット風袋量)1.0 kg が計量値から差し引かれ、正味量として **PT -1.0 kg** が表示されます。



手順 4. **PT** マークと正味量が点灯し、この状態で衣服引き量(プリセット風袋量)として1.0 kg 差し引かれた測定ができます。



手順 5. 通常の測定に戻すには、計量台になにも載せないで **衣服引き** スイッチまたは、**ゼロ** スイッチを押します。

お知らせ

- **衣服引き** スイッチを長押しすると、設定された衣服引の量が一定時間確認できます。

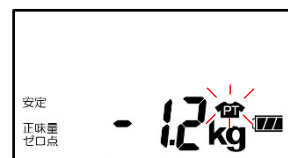
8.2.2. 衣服の重さを0.1kg単位で変更する

手順 1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.1.電源の準備」参照。

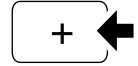
手順 2. **ON/OFF** スイッチを押して測定 ON にします。



手順 3. **+**、**-** スイッチを押すと、衣服引き量(プリセット風袋量)1.0 kg が0.1 kg 単位で変更できます。変更中は **PT** マークが点滅します。



0.1 kg 増やす



-0.1 kg 減らす



手順 4. 変更後しばらくすると正味量と **PT** マークが点灯し、この状態で変更された衣服引き量(プリセット風袋量)で差し引かれた測定ができます。

お知らせ

- 差し引く重さは0.1 kg から99.9 kg までです。

8.2.3. 正確な服やシーツなどの重さを引くとき

手順 1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.1.電源の準備」参照。

手順 2. **ON/OFF** スイッチを押して測定 ON にします。

手順 3. 前もって風袋のみ(服やシーツなど)を載せ、表示が安定したら **ゼロ** スイッチを押し、表示を0.0 kg にします。

手順 4. その状態で、風袋(服やシーツなど)と測定する対象(患者など)を載せると、正味量を測定できます。

8.3. ファンクション設定

ファンクション設定は、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信設定ができます。
各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

8.3.1. ファンクション設定方法

手順 1. 測定 OFF の状態にします。

手順 2. **ゼロ** スイッチを先に押した状態で **ON/OFF** スイッチを押します。

ゼロ 押しながら
ON/OFF 押す

手順 3. **FD-*** と表示されます。*は記憶している設定値。

手順 4. **ゼロ** スイッチを押す毎に、設定値が変わります。

FD-0 → **FD-1** など。

手順 5. **+** スイッチを押す毎に、次の項目に進みます。

FD-1 → **F1-1** など。

手順 6. **-** スイッチを押す毎に、前の項目に戻ります。

F1-1 → **FD-1** など。

手順 7. 上記の項目の設定が終わったら、**ON/OFF** スイッチを押します。

表示に **End** と表示され、設定が記憶されます。

ON/OFF 押す

8.3.2. ファンクション一覧

| 項目 | 内容 | 設定値 | 設定内容 | |
|----|--------------|-----|------------------|--------------------------------|
| F0 | イニシャル | ◆ 0 | 無効 | |
| | | 1 | 実行 | |
| F1 | オートパワーオフ | 0 | 無し | |
| | | ◆ 1 | 5分 | |
| | | 2 | 10分 | |
| | | 3 | 15分 | |
| | | 4 | 30分 | |
| F2 | 表示固定 | 0 | 無し | |
| | | 1 | 有り 時間解除 | |
| | | ◆ 2 | 有り 変動量±3.0 kgで解除 | |
| | | 3 | 有り 1+2の条件で解除 | |
| F3 | ブザー音 | 0 | 無効 | |
| | | ◆ 1 | 有効 | |
| F4 | 未使用 | 0 | 未使用 | |
| F5 | 通信内容およびタイミング | 0 | オートモード A | 「9. 通信機能 (RS-232C インタフェース)」参照。 |
| | | 1 | オートモード B | |
| | | 2 | オートモード C | |
| | | ◆ 3 | オートモード D | |
| | | 4 | ストリームモード | |
| | | 5 | 出力無し | |
| | | 6 | コマンド | |
| F6 | 通信データフォーマット | 0 | 標準フォーマット | |
| | | 1 | 全自動血圧計用フォーマット | |
| | | ◆ 2 | 標準プリンタフォーマット※ | |
| F7 | 拡張端子 1 イニシャル | ◆ 0 | 無効 | |
| | | 1 | 実行 | |
| F8 | 拡張端子 1 ボーレート | ◆ 0 | 2400 bps | |
| | | 1 | 4800 bps | |
| | | 2 | 9600 pbs | |
| F9 | 拡張端子 1 パリティ | ◆ 0 | EVEN | |
| | | 1 | ODD | |
| | | 2 | NONE | |
| FA | 拡張端子 1 終端 | ◆ 0 | CR LF | |
| | | 1 | CR | |
| FB | 拡張端子 1 データ長 | ◆ 0 | 7ビット | |

※F6 その他の設定は当社までお問い合わせください。

◆は初期設定を表します。

CR : キャリッジリターン、 ASCII 0Dh

LF : ラインフィード、 ASCII 0Ah

9. 通信機能（RS-232Cインタフェース）

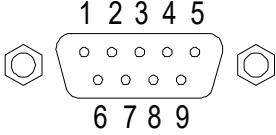
- 本器は、RS-232C クロスケーブルを用いて、外部プリンタ等と接続することができます。
通信スタイルの設定により、ストリームモード、オート出力モードが設定できます。
通信条件（ボーレート、データ長、パリティビット、ストップビット）を通信する機器と合わせてください。
通信スタイルと通信条件の設定方法は「8.3.ファンクション設定」を参照してください。

インタフェース仕様

| | | |
|-------|----------------|-------------------------------|
| 入出力規格 | EIA RS-232C 準拠 | |
| 伝送形式 | 調歩同期式（半二重方式） | |
| 信号形式 | 通信速度 | 2400、4800、9600 bps 選択可 |
| | データビット長 | 7ビット または、8ビット 選択可 |
| | パリティ | 無し(NONE)、偶数(EVEN)、奇数(ODD) 選択可 |
| | ストップビット | 1ビット |
| | 使用コード | ASCII |

ピン接続

D-Sub9 ピン配置（コネクタ：オス）

| ピン番号 | 信号 | 方向 | 備考 |
|------|-----|------|--|
| 1 | CD | N.C. |  |
| 2 | RXD | 入力 | |
| 3 | TXD | 出力 | |
| 4 | DTR | — | |
| 5 | SG | — | |
| 6 | DSR | N.C. | |
| 7 | RTS | 出力 | |
| 8 | CTS | 入力 | |
| 9 | RI | N.C. | |

通信ケーブルは接続する周辺機器に合わせて用意しております。「12.アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

通信内容およびタイミング

1. ストリームモード

体重値のみ、約 10 回/秒で常時出力します。通信データフォーマットは標準フォーマットになります。

| 項目 | 出力データ内容 |
|----------|---------|
| ストリームモード | 体重値 |

2. オート出力モード A、B、C

体重表示が固定されるとデータが 1 回だけ出力されます。設定により、ID, 時計データがつきます。通信データフォーマットは、設定内容に従います。なお、体重値は常に出力されますが、身長値、風袋値、BMI は動作状態に応じて出力されます。

| 項目 | 出力データ内容 |
|------------------|--|
| オート出力モード A | 体重値 + 風袋値 + 身長値 + BMI |
| オート出力モード B | ID データ + 体重値 + 風袋値 + 身長値 + BMI |
| オート出力モード C | 時計データ + 体重値 + 風袋値 + 身長値 + BMI |
| オート出力モード D（初期設定） | 時計データ + ID データ + 体重値 + 風袋値 + 身長値 + BMI |

通信データフォーマット

CR : キャリッジリターン、ASCII 0Dh

LF : ラインフィード、ASCII 0Ah

␣ : スペース、ASCII 20h

出力データ

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | | | | | | | |
|----------|---|---|---|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|----|----|
| 体重(安定) | S | T | , | +/- | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | . | 数字 | ␣ | k | g | CR | LF | | | | | | | |
| 体重(非安定) | U | S | , | +/- | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | . | 数字 | ␣ | k | g | CR | LF | | | | | | | |
| 過荷重 | O | L | , | +/- | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | . | 9 | ␣ | k | g | CR | LF | | | | | | | |
| 風袋量 | T | R | , | +/- | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | . | 数字 | ␣ | k | g | CR | LF | | | | | | | |
| プリセット風袋量 | P | T | , | + | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | . | 数字 | ␣ | k | g | CR | LF | | | | | | | | | |
| 身長値 | H | T | , | + | 数字 | 数字 | 数字 | 数字 | . | 数字 | ␣ | c | m | CR | LF | | | | | | | | | |
| BMI | B | M | , | + | 数字 | 数字 | 数字 | . | 数字 | CR | LF | | | | | | | | | | | | | |
| 患者 ID | I | D | , | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | 英数 | CR | LF | | | | | |
| 時刻 | T | M | , | 2 | 0 | 年 | 年 | / | 月 | 月 | / | 日 | 日 | , | 時 | 時 | : | 分 | 分 | : | 秒 | 秒 | CR | LF |




10. 保守

10.1. 保守点検と安全管理

本器は必要時に有する機能が十分に発揮され、しかも患者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。

本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。弊社では、1年に1回以上の定期点検をお勧め致します。

10.2. 清掃

|  注意 | |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">■ 清掃を行う際は、ACコードをコンセントから外してください。感電の恐れがあります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">■ 本器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。 |

本器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行ってください。

- 外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

10.3. 定期点検

機器を正しくお使い頂くために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。定期点検については、弊社にお問合せください。

10.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

| 項目 | 内容 |
|--------|---|
| 外観 | <ul style="list-style-type: none">■ 落下等による変形、破損がないこと■ 各部の汚れ、サビ、キズがないこと■ パネル類の割れやガタつきがないこと■ 結露、水濡れしていないこと |
| 操作部 | <ul style="list-style-type: none">■ スイッチ、ボタン類の破損、ガタつきがないこと |
| 表示部 | <ul style="list-style-type: none">■ 画面の汚れ、キズ、ガタつきがないこと |
| 測定部 | <ul style="list-style-type: none">■ 計量台のガタつき、固定異常がないこと |
| 接続ケーブル | <ul style="list-style-type: none">■ 接続ケーブルの上に重いもの、車イス、本体等がのっていないこと■ 接続ケーブルが破損していないこと■ 本体のコネクタに確実に挿入されていること |

10.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

| 項目 | 内容 |
|--------------------------|--------------------------------------|
| 外観 | ■ けむりが出たり、変なにおいがないこと ■ 異常な音がしないこと |
| 操作部 | ■ スイッチ、ボタン類の動作を確認し異常がないこと |
| 表示部 | ■ 表示器の、マーク、数字等の表示欠けがないこと |
| 測定部 | ■ 実測し、測定動作を確認し異常がないこと |
| データ処理 (他 PC 等への接続の場合) | ■ 体重値を表示確認し、異常がないこと |
| 電源部 | ■ 電源電圧を確認し異常がないこと |

- 機器に異常がある場合は、点検にお出しください。
- 点検は、最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

10.4. 廃棄

本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

| 品名 | 構成品 | 原材料 |
|-------|-----------------|---|
| パッケージ | 箱 | 段ボール |
| | 緩衝材 | 段ボール、発泡スチロール |
| | 袋 | ビニール |
| 本体 | 表示器筐体 | ABS 樹脂 |
| | 内部部品 | 一般部品 |
| | ベース | アルミ |
| | 基板上の電池(バックアップ用) | リチウム電池 |
| | バッテリー | 「廃プラスチック類(ケース)」「金属くず(極板、端子等)」及び「特別管理産業廃棄物である配酸」の混合物 |

10.5. 修理を依頼される前に

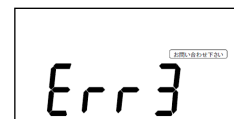
測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。

これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、弊社 ME 機器相談センターにお問合せください。

| 現象 | 確認内容 |
|----------------------------------|---|
| ON/OFF スイッチを押しても、何も表示しない。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 電源は正しく接続されていますか？ ■ 電池は正しく挿入されていますか？ |
| ----- を表示したまま変わらない。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 電源をいれるとき、計量台の上に何かのっけていませんか？ 約 15 kg 以上のものをのせて電源をいれる则表示されます。のっけているものを降ろしてください。 |
| 体重が正しくはかれない。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 計量台に壁やコードなどが接触していませんか？ ■ 水平に設置されていますか？ |
| ケーブル確認 と表示される。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 表示器と計量台を接続する専用接続ケーブルが抜けていませんか？ ■ 表示器と計量台を接続する専用接続ケーブルが断線していませんか？ |
| 測定範囲外 と表示される。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 計量台に 150.8 kg を超えたものがのっけているか、電源投入時に計量台にのっけているものを降ろしたとき表示されます。故障ではありません。 |
| [] が表示される。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 電池交換をしてください。 |

以下のように「Err 番号」と出るときは、故障の可能性が高いです。

表示される番号とともに弊社 ME 機器相談センターにお問い合わせください。



警告



- 本器の分解、および改造はしないでください。
けが、火災、感電の原因となります。

11. アクセサリ・オプションリスト

| 品名 | 型名 |
|-------------------------------------|--------------|
| オプションプリンタ | AD-PR580 |
| プリンタ取り付けキット (金具、単2型充電電池6本、充電器、ケーブル) | AD-PR580-009 |

12. 重力加速度の大きさの範囲

本製品は、重力加速度の大きさの範囲を分類しています。

本製品は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。

2箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。

たとえば、愛知県の場合「9.800 ～ 9.796 m/s²」または、「9.798 ～ 9.794 m/s²」が使用できます。

| 使用地域の表記 重力加速度の範囲 | 区分 | 使用地域（都道府県） |
|--------------------------------|----|---|
| 9.807 ～ 9.803 m/s ² | 1 | 北海道 |
| 9.804 ～ 9.800 m/s ² | 2 | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県 |
| 9.802 ～ 9.798 m/s ² | 3 | 山形県、福島県、茨城県、新潟県 |
| 9.800 ～ 9.796 m/s ² | 4 | 栃木県、千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、埼玉県、 東京都（八丈、小笠原を除く）、福井県、富山県、石川県、静岡県、岐阜県、 愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、兵庫県、 山口県、広島県、岡山県、鳥取県、島根県 |
| 9.798 ～ 9.794 m/s ² | 5 | 長野県、東京都（全域）、神奈川県、山梨県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重 県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、山口県、広島県、岡山県、鳥取県、 香川県、愛媛県、徳島県、高知県、長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎 県、大分県、鹿児島県（薩摩地方に限る） |
| 9.794 ～ 9.790 m/s ² | 6 | 鹿児島県（薩摩地方を除く） |
| 9.792 ～ 9.789 m/s ² | 7 | 沖縄県 |

13. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

13.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体.....ご購入日より1年

13.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

13.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 裏表紙に記載してある相談窓口にお申し付けください。

メディカル機器に関するご質問・ご相談窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

ME 機器相談センター

電話 **0120-707-188** 通話料無料

受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:00、月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがあります
のでご了承ください。

修理品の発送先 〒507-0054 岐阜県 多治見市 宝町9-19
株式会社エー・アンド・デイ FE部
業務用体重計、業務用身長計 TEL. 0572-21-6644

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

※ 電話のかけまちがいにご注意ください。
番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いいたします。